

平成 29 年 4-6 月期中小企業景気動向調査結果

業況 DI は 4.1 ポイントの上昇

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）が四半期ごとに実施している「中小企業景気動向調査」の平成 29 年 4-6 月期の調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

1. 調査要領

- ・調査時期：平成 29 年 5 月
- ・調査対象：神奈川県内中小企業 2,000 社
- ・回答数（率）：1,020 社（51.0%） ＊詳細は下記の通り
- ・調査方法：調査対象への郵送
- ・分析方法：DI（Diffusion Index）＊による分析

※ 業況等について、「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値

区分	送付数	回答数	回答率（%）
製造業	550	351	63.8%
建設業	250	131	52.4%
商業・サービス業 （卸売業、小売業、飲食店、サービス業）	1,200	538	44.8%
合計	2,000	1,020	51.0%

2. 調査結果

（1）総合

	平成 28 年		平成 29 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
業況 DI	▲29.1	▲26.6	▲26.5	▲22.4	▲24.9	▲23.6
売上 DI	▲19.0	▲17.1	▲23.1	▲19.7	—	—
採算 DI	▲25.9	▲22.0	▲25.6	▲23.0	—	—

総合の業況 DI は、前期比 4.1 ポイント上昇の▲22.4 となった。

経営状況では、売上 DI は前期比 3.4 ポイント上昇の▲19.7、また、採算 DI は同 2.6 ポイント上昇の▲23.0 となった。

今後の業況 DI を見ると、3 ヶ月後は現在比 2.5 ポイント低下の▲24.9、半年後は同 1.2 ポイント低下の▲23.6 を見込んでいる。

(2) 業種別特徴

<製造業>

	平成 28 年		平成 29 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
業況 DI	▲19.9	▲12.4	▲11.4	▲8.3	▲11.8	▲10.7
売上 DI	▲10.8	▲6.6	▲14.3	▲6.3	—	—
採算 DI	▲18.9	▲11.2	▲16.6	▲12.0	—	—

製造業の今期の業況 DI は、前期比 3.1 ポイント上昇の▲8.3 となった。「前期より売上がダウンしているものの 4 月から 6 月期としては、ここ数年で一番良くなりそう。景気は緩やかに回復している様子。」「受注状況に多少の波はあるが、業績の好調は当分続く。必要とする人材の確保が相変わらず厳しい。」などという声も聞かれた。

経営状況では、売上 DI は、前期比 8.0 ポイント上昇の▲6.3、採算 DI は同 4.6 ポイント上昇の▲12.0 となり「生産能力を上回る量を受注しており、それ自体はありがたいことだが、残業時間増や人手不足が深刻な問題。」といった声も聞かれた。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は現在比 3.5 ポイント低下の▲11.8、半年後は同 2.4 ポイント低下の▲10.7 を見込んでおり、「金属材料の値上が徐々に影響してきている。客先への価格転嫁が困難である為、他で採算を合わせる努力が必要。」「取引先の内製化により業績は下っていく見通し。」といった声も聞かれた。

なお、製造業の中分類の業況 DI は以下の通り。

	平成 28 年		平成 29 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
一般機械	▲11.2	▲9.5	▲2.4	▲1.2	▲7.4	▲2.5
電気機械	▲24.7	▲9.1	▲9.5	▲16.0	▲18.7	▲16.0
輸送用機械	▲28.6	▲11.7	▲12.3	▲4.5	▲9.4	▲12.7
その他	▲18.9	▲16.7	▲18.1	▲10.2	▲11.8	▲11.9

中分類で見ると、一般機械は前期比 1.2 ポイント上昇の▲1.2、電気機械は同 6.5 ポイント低下の▲16.0、輸送用機械は同 7.8 ポイント上昇の▲4.5 となった。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は一般機械が現在比 6.2 ポイント低下の▲7.4、電気機械が同 2.7 ポイント低下の▲18.7、輸送用機械が同 4.9 ポイント低下の▲9.4、半年後は一般機械が同 1.3 ポイント低下の▲2.5、電気機械が今期と同じ▲16.0、輸送用機械は同 8.2 ポイント低下の▲12.7 を見込んでいる。

<建設業>

	平成 28 年		平成 29 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
業況 DI	▲10.7	▲2.2	▲3.5	▲13.0	▲17.7	▲22.0
売上 DI	▲12.0	▲5.1	▲0.7	▲34.6	—	—
採算 DI	▲20.0	▲17.0	▲9.2	▲27.7	—	—

建設業の今期の業況 DI は、前期比 9.5 ポイント低下の▲13.0 となった。

経営状況では、売上 DI は前期比 33.9 ポイント低下の▲34.6、採算 DI は同 18.5 ポイント低下の▲27.7 となった。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は現在比 4.7 ポイント低下の▲17.7、半年後は同 9.0 ポイント低下の▲22.0 となり、業況は悪化すると見込んでいる。「安価で、たたき合うため仕事はやっているが利益は上らず、人手不足もあり、現況赤字である。」「設備投資や改修工事の減少が大きく響き、今年は経営が厳しくなりそう。」といった声も聞かれた。

<商業・サービス業>

	平成 28 年		平成 29 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
業況 DI	▲40.5	▲42.6	▲43.2	▲34.0	▲35.3	▲32.4
売上 DI	▲26.6	▲27.3	▲35.7	▲24.8	—	—
採算 DI	▲32.5	▲30.6	▲36.4	▲29.0	—	—

商業・サービス業の業況 DI では、前期比 9.2 ポイント上昇の▲34.0 となった。

経営状況では、売上 DI が前期比 10.9 ポイント上昇の▲24.8、採算 DI は同 7.4 ポイント上昇の▲29.0 となった。「新年度になり動き始めた感がある。小さい案件が多いけれど採算は悪くなく、新しいクライアントを増やしていく。」「外商営業の若手が戦力化出来、提案型営業パターンが確立し、物件を安定的に取れるようになった為。」などの他、「クチコミが一番効果がありますね。このまま続けばと思います。」といった声も聞かれた。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は現在比 1.3 ポイント低下の▲35.3、半年後は同 1.6 ポイント上昇の▲32.4 を見込んでいる。「人口減。企業数減のあおりが出ている。今後、過度の価格競争で厳しい状況が当分の間、続くものと思われる。」「商店街そのものが高齢化している。若者が新しい商業施設へ集中している為、人が少ない。なんとか呼び戻したい。」といった声が聞かれる一方「一番の問題点は人手不足。人員が確保できれば展望も明るくなるのでは。」といった声も聞かれた。

なお、商業・サービス業の業種別の業況 DI は以下の通り。

	平成 28 年		平成 29 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
卸売業	▲30.9	▲31.6	▲37.5	▲24.2	▲27.6	▲22.4
小売業	▲54.2	▲57.7	▲56.2	▲50.0	▲48.6	▲48.6
飲食店	▲33.8	▲40.3	▲46.7	▲31.3	▲32.8	▲25.4
サービス業	▲27.9	▲27.3	▲25.2	▲17.1	▲21.0	▲17.6

業種別では、卸売業は前期比 13.3 ポイント上昇の▲24.2、小売業は同 6.2 ポイント上昇の▲50.0、飲食店は同 15.4 ポイント上昇の▲31.3、サービス業は同 8.1 ポイント上昇の▲17.1 と全業種で改善した。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は卸売業が現在比 3.4 ポイント低下の▲27.6、小売業は同 1.4 ポイント上昇の▲48.6、飲食店は同 1.5 ポイント低下の▲32.8、サービス業は同 3.9 ポイント低下の▲21.0 を見込み、半年後では卸売業が同 1.8 ポイント上昇の▲22.4、小売業は同 1.4 ポイント上昇の▲48.6、飲食店は同 5.9 ポイント上昇の▲25.4、サービス業は同 0.5 ポイント低下の▲17.6 と、サービス業以外では改善を見込んでいる。

(3) 規模別特徴

		平成 28 年		平成 29 年			
		7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
中規模	業況 DI	▲25.2	▲21.9	▲21.6	▲13.2	▲17.9	▲15.6
	売上 DI	▲12.9	▲15.6	▲17.8	▲11.6	—	—
	採算 DI	▲22.3	▲20.2	▲21.5	▲15.9	—	—
小規模	業況 DI	▲34.1	▲32.9	▲32.6	▲33.4	▲33.3	▲33.3
	売上 DI	▲26.8	▲19.0	▲29.4	▲29.4	—	—
	採算 DI	▲30.6	▲24.2	▲30.5	▲31.3	—	—

規模別の業況 DI は、中規模企業は前期比 8.4 ポイント上昇の▲13.2、小規模企業は同 0.8 ポイント低下の▲33.4 となった。

経営状況では、中規模企業は売上 DI が前期比 6.2 ポイント上昇の▲11.6、採算 DI が同 5.6 ポイント上昇の▲15.9、小規模企業は売上 DI が前期と同じ▲29.4、採算 DI が同 0.8 ポイント

低下の▲31.3 となった。

今後の業況 DI については、中規模企業は 3 ヶ月後が現在比 4.7 ポイント低下の▲17.9、半年後が同 2.4 ポイント低下の▲15.6、小規模企業は 3 ヶ月後が同 0.1 ポイント上昇の▲33.3、半年後も同 0.1 ポイント上昇の▲33.3 を見込んでいる。

(4) 地区別特徴 (業況 DI)

	平成 28 年		平成 29 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
横浜	▲28.3	▲25.8	▲23.1	▲17.6	▲20.5	▲20.8
川崎	▲19.9	▲23.1	▲23.7	▲27.2	▲26.1	▲16.5
横須賀	▲35.1	▲28.6	▲29.5	▲25.7	▲27.9	▲29.4
平塚	▲40.9	▲34.0	▲26.2	▲21.6	▲35.0	▲28.0
藤沢	▲25.5	▲24.0	▲35.0	▲21.0	▲18.4	▲17.5
相模原	▲33.6	▲28.2	▲29.3	▲18.4	▲30.1	▲23.5
厚木	▲12.1	▲20.6	▲12.7	▲15.0	▲13.5	▲22.5
足柄上・西湘	▲40.0	▲30.3	▲40.6	▲39.8	▲35.7	▲37.8

今期の地区別の業況 DI は、横浜地区 (前期比 5.5 ポイント上昇の▲17.6)、横須賀地区 (同 3.8 ポイント上昇の▲25.7)、平塚地区 (同 4.6 ポイント上昇の▲21.6)、藤沢地区 (同 14.0 ポイント上昇の▲21.0)、相模原地区 (同 10.9 ポイント上昇の▲18.4)、足柄上・西湘地区 (同 0.8 ポイント上昇の▲39.8) の 6 地区で上昇となり、川崎地区 (前期比 3.5 ポイント低下の▲27.2)、厚木地区 (同 2.3 ポイント低下の▲15.0) の 2 地区で低下となった。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は川崎地区 (現在比 1.1 ポイント上昇の▲26.1)、藤沢地区 (同 2.6 ポイント上昇の▲18.4)、厚木地区 (同 1.5 ポイント上昇の▲13.5)、足柄上・西湘地区 (同 4.1 ポイント上昇の▲35.7) の 4 地区で上昇となり、横浜地区 (現在比 2.9 ポイント低下の▲20.5)、横須賀地区 (同 2.2 ポイント低下の▲27.9)、平塚地区 (同 13.4 ポイント低下の▲35.0)、相模原地区 (同 11.7 ポイント低下の▲30.1) の 4 地区で低下となった。

半年後は、川崎地区 (現在比 10.7 ポイント上昇の▲16.5)、藤沢地区 (同 3.5 ポイント上昇の▲17.5)、足柄上・西湘地区 (同 2.0 ポイント上昇の▲37.8) の 3 地区で上昇となり、横浜地区 (現在比 3.2 ポイント低下の▲20.8)、横須賀地区 (同 3.7 ポイント低下の▲29.4)、平塚地区 (同 6.4 ポイント低下の▲28.0)、相模原地区 (同 5.1 ポイント低下の▲23.5)、厚木地区 (同 7.5 ポイント低下の▲22.5)、の 5 地区は低下すると見込んでいる。

▼本件に関するお問い合わせ先
 (公財) 神奈川産業振興センター (KIP)
 (Kanagawa Industrial Promotion Center)
 事業部経営総合相談課 小野田
 TEL 045-633-5201 FAX 045-633-5194
 URL <http://www.kipc.or.jp/> E-mail: soudan@kipc.or.jp

景気動向調査 (平成29年4月～6月期)

業種別DI表

		製造業	建設業	商業・サービス業				小計	総合
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業		
回収数		351	131	99	225	67	147	538	1020
業況判断	現在の業況	-8.3	-13.0	-24.2	-50.0	-31.3	-17.1	-34.0	-22.4
	3ヶ月後の業況	-11.8	-17.7	-27.6	-48.6	-32.8	-21.0	-35.3	-24.9
	半年後の業況	-10.7	-22.0	-22.4	-48.6	-25.4	-17.6	-32.4	-23.6
経営状況	売上	-6.3	-34.6	-8.1	-39.7	-17.9	-16.4	-24.8	-19.7
	採算	-12.0	-27.7	-18.2	-36.6	-28.8	-24.7	-29.0	-23.0
	引き合い／客数	1.7	-19.1	-14.1	-35.4	-26.2	-20.8	-26.4	-15.7
	単価	-11.0	-9.9	-9.1	-38.6	-18.5	-12.7	-23.6	-17.5
	仕入価格	-44.6	-34.6	-40.4	-41.2	-61.2	-25.2	-39.5	-40.6
	資金繰り	-9.7	-5.4	-14.1	-36.0	-33.3	-14.6	-25.8	-17.6
	残業	-6.3	-19.1	-13.1	-11.6	-14.1	-12.5	-12.4	-11.2
	設備稼働	-2.0	-20.0	-	-	-	-	-	-6.7
前期経営実績	売上水準	0.6	2.3	1.0	-34.1	-9.1	-4.8	-16.4	-8.1
	利益水準	17.7	14.7	12.5	0.9	1.6	-2.3	2.3	9.4
	在庫	2.0	-0.9	-3.1	-21.2	-15.6	-7.4	-13.5	-6.5
	投資	-0.3	-7.3	-23.7	-11.2	-35.4	-35.3	-23.0	-13.0
	雇用状況	-16.9	-35.7	-18.2	-48.2	-24.2	-17.8	-31.3	-26.9

(注)DI(Diffusion Index) : 各項目ごとのプラス要素の比率からマイナス要素の比率を差し引いた数値

参考＜前回調査＞ 景気動向調査 (平成29年1月～3月期)

		製造業	建設業	商業・サービス業				小計	総合
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業		
回収数		351	142	96	220	60	140	516	1009
業況判断	現在の業況	-11.4	-3.5	-37.5	-56.2	-46.7	-25.2	-43.2	-26.5
	3ヶ月後の業況	-17.9	-14.4	-36.2	-48.6	-39.7	-7.9	-34.1	-25.7
	半年後の業況	-17.3	-26.3	-35.1	-50.7	-42.1	-6.7	-35.9	-28.0
経営状況	売上	-14.3	-0.7	-30.2	-53.4	-38.3	-7.3	-35.7	-23.1
	採算	-16.6	-9.2	-21.9	-45.2	-52.5	-25.6	-36.4	-25.6
	引き合い／客数	-8.6	-2.1	-21.9	-50.2	-40.0	-30.7	-38.4	-22.9
	単価	-13.5	-3.5	-25.3	-43.7	-28.1	-28.9	-34.5	-22.7
	仕入価格	-33.3	-31.7	-25.5	-31.5	-66.7	-32.1	-34.7	-33.8
	資金繰り	-13.5	-12.7	-25.0	-41.2	-36.8	-29.5	-34.4	-24.1
	残業	-4.6	-9.2	-17.2	-15.2	-24.6	-29.0	-20.5	-13.3
	設備稼働	-8.4	-11.6	-	-	-	-	-	-9.3
前期経営実績	売上水準	-2.6	-7.7	-25.3	-44.1	-36.7	-19.6	-33.1	-18.9
	利益水準	9.5	0.0	-4.2	-27.7	-25.4	-21.3	-21.3	-7.6
	在庫	6.5	3.1	10.8	3.7	5.1	-24.4	-2.0	1.7
	投資	-2.6	-8.1	-8.9	-15.0	-10.5	-21.6	-15.2	-9.8
	雇用状況	-20.5	-40.7	-18.5	-10.6	-22.0	-21.5	-16.4	-21.3

規模別DI表

		製造業		建設業		商業・サービス業		総合	
		中規模企業	小規模企業	小規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業
回収数		185	166	54	77	317	221	556	464
業況判断	現在の業況	4.3	-22.3	1.9	-23.4	-26.0	-45.2	-13.2	-33.4
	3ヶ月後の業況	0.0	-25.2	-13.0	-21.1	-29.4	-43.6	-17.9	-33.3
	半年後の業況	1.1	-24.2	-14.8	-27.4	-25.7	-41.8	-15.6	-33.3
経営状況	売上	3.2	-16.9	-20.4	-44.7	-18.7	-33.5	-11.6	-29.4
	採算	-1.6	-23.5	-11.1	-39.5	-25.2	-34.4	-15.9	-31.3
	引き合い／客数	14.1	-12.1	-13.0	-23.4	-18.0	-38.2	-6.7	-26.4
	単価	-9.8	-12.3	-3.7	-14.3	-18.2	-31.5	-14.0	-21.7
	仕入価格	-39.9	-50.0	-32.1	-36.4	-39.3	-39.7	-38.8	-42.8
	資金繰り	-2.2	-18.1	-1.9	-7.8	-22.4	-30.6	-13.7	-22.3
	残業	5.4	-19.3	-7.4	-27.3	-11.8	-13.3	-5.6	-17.9
	設備稼働	8.2	-13.3	-17.0	-22.2	—	—	2.5	-16.0
前期経営実績	売上水準	9.7	-9.6	1.9	2.6	-3.5	-35.3	1.4	-19.7
	利益水準	31.9	1.8	22.2	9.3	5.6	-2.4	16.2	1.1
	在庫	5.6	-1.9	0.0	-1.5	-9.3	-19.5	-3.4	-10.3
	投資	7.6	-9.1	-3.9	-9.6	-30.8	-11.5	-15.2	-10.3
	雇用状況	-17.3	-16.5	-42.6	-30.7	-19.7	-47.9	-21.2	-33.8

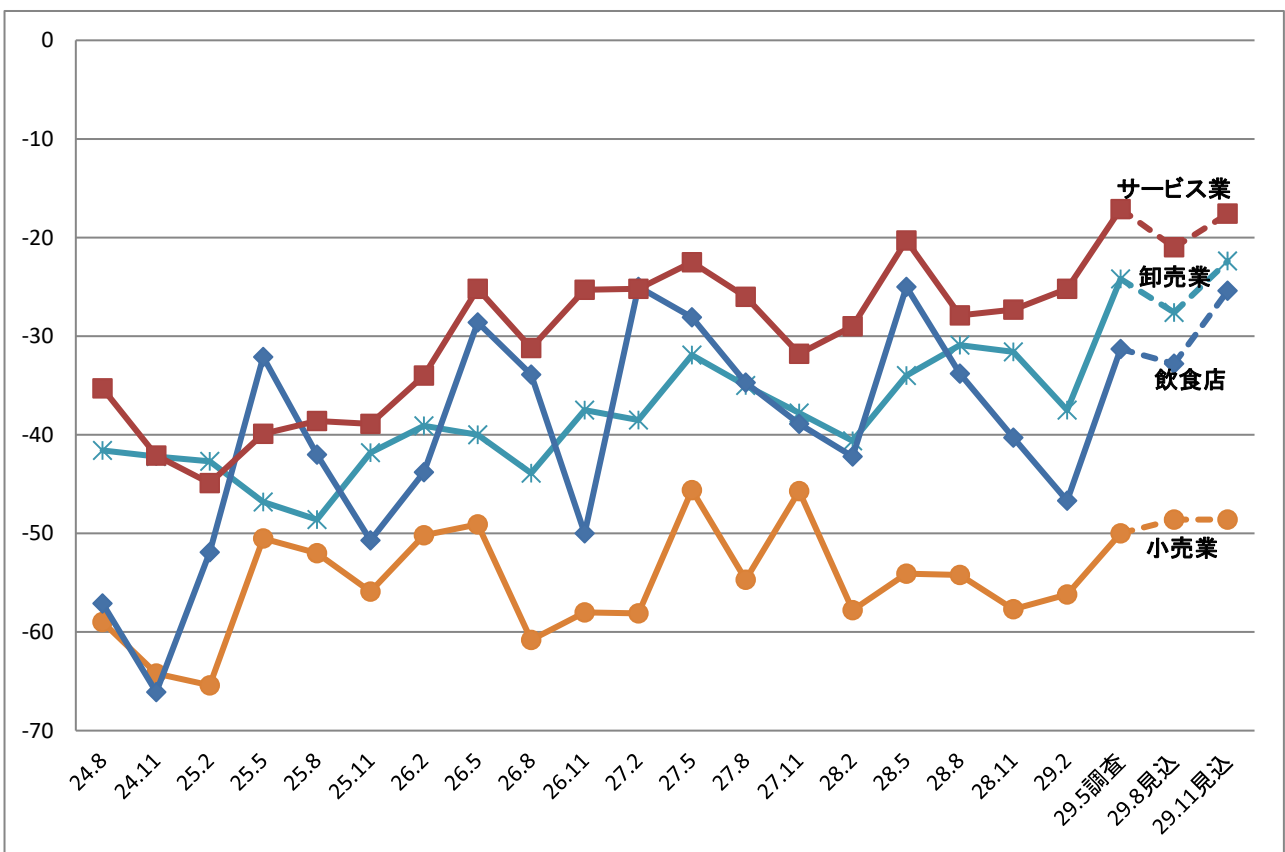
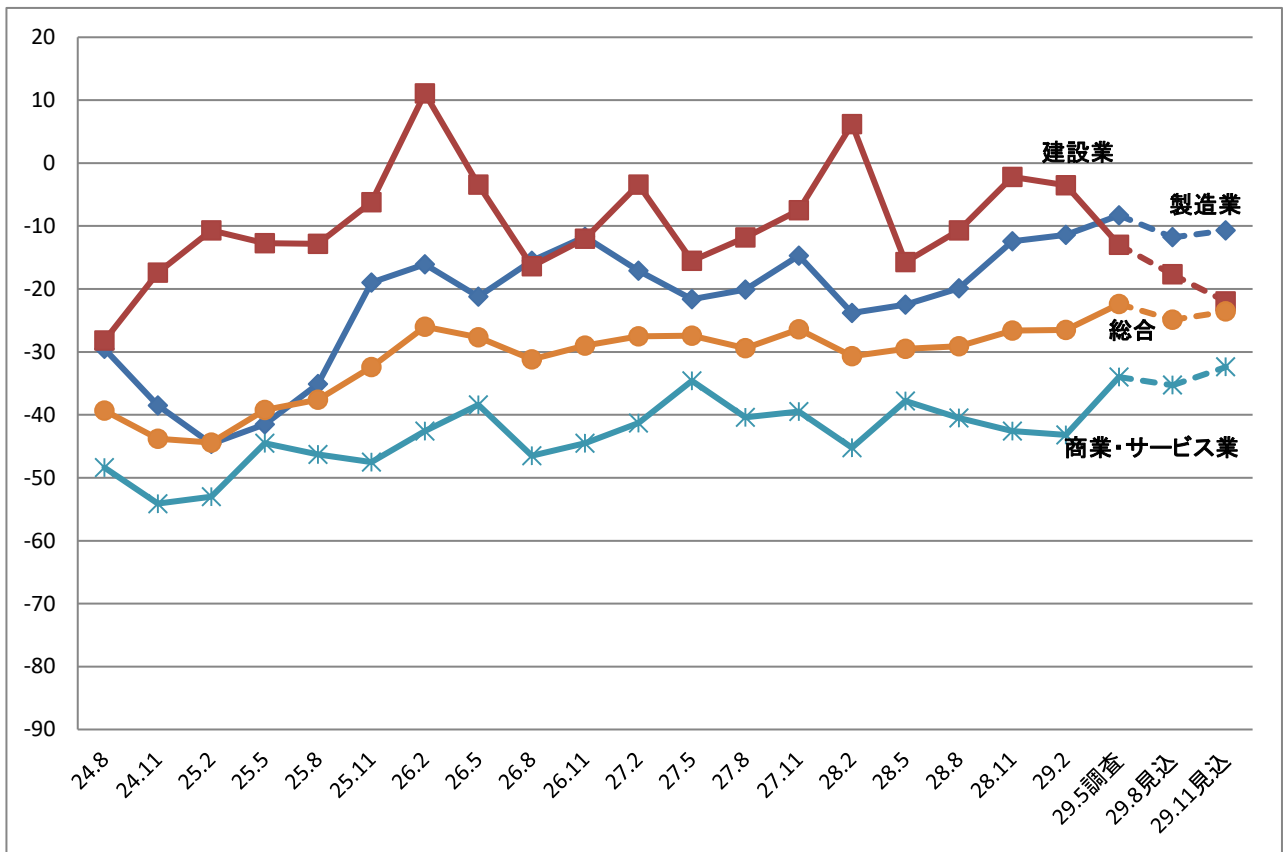
地区別DI表

		横浜	川崎	横須賀	平塚	藤沢	相模原	厚木	足柄上・西湘	総合
回収数		256	136	105	103	105	103	114	98	1020
業況判断	現在の業況	-17.6	-27.2	-25.7	-21.6	-21.0	-18.4	-15.0	-39.8	-22.4
	3ヶ月後の業況	-20.5	-26.1	-27.9	-35.0	-18.4	-30.1	-13.5	-35.7	-24.9
	半年後の業況	-20.8	-16.5	-29.4	-28.0	-17.5	-23.5	-22.5	-37.8	-23.6
経営状況	売上	-25.1	-19.9	-17.3	-25.2	-21.0	-19.4	-6.2	-16.3	-19.7
	採算	-25.9	-27.9	-26.0	-22.5	-14.4	-19.4	-15.0	-27.6	-23.0
	引き合い／客数	-20.2	-11.8	-18.6	-13.6	-17.1	-22.5	-0.9	-17.3	-15.7
	単価	-16.9	-9.6	-21.4	-19.8	-22.3	-15.7	-19.5	-18.1	-17.5
	仕入価格	-43.9	-39.0	-35.7	-39.2	-42.7	-38.2	-35.8	-46.8	-40.6
	資金繰り	-15.4	-17.6	-18.4	-20.8	-16.2	-21.4	-8.0	-27.8	-17.6
	残業	-11.1	-12.7	-16.5	-1.9	-16.2	-12.9	-7.3	-10.5	-11.2
	設備稼働	-6.1	-9.5	0.0	-12.8	-10.2	0.0	-1.6	-16.2	-6.7
前期経営実績	売上水準	-6.7	-2.2	-11.8	-10.7	-9.6	-13.6	-0.9	-14.3	-8.1
	利益水準	11.8	10.4	10.0	9.8	12.6	5.8	8.2	2.2	9.4
	在庫	-8.9	-3.8	3.0	-4.0	-14.9	-4.0	-10.2	-6.5	-6.5
	投資	-14.4	-16.5	-12.7	-15.8	-5.8	-8.9	-8.4	-19.1	-13.0
	雇用状況	-24.5	-22.2	-35.9	-33.0	-34.0	-20.4	-21.2	-29.6	-26.9

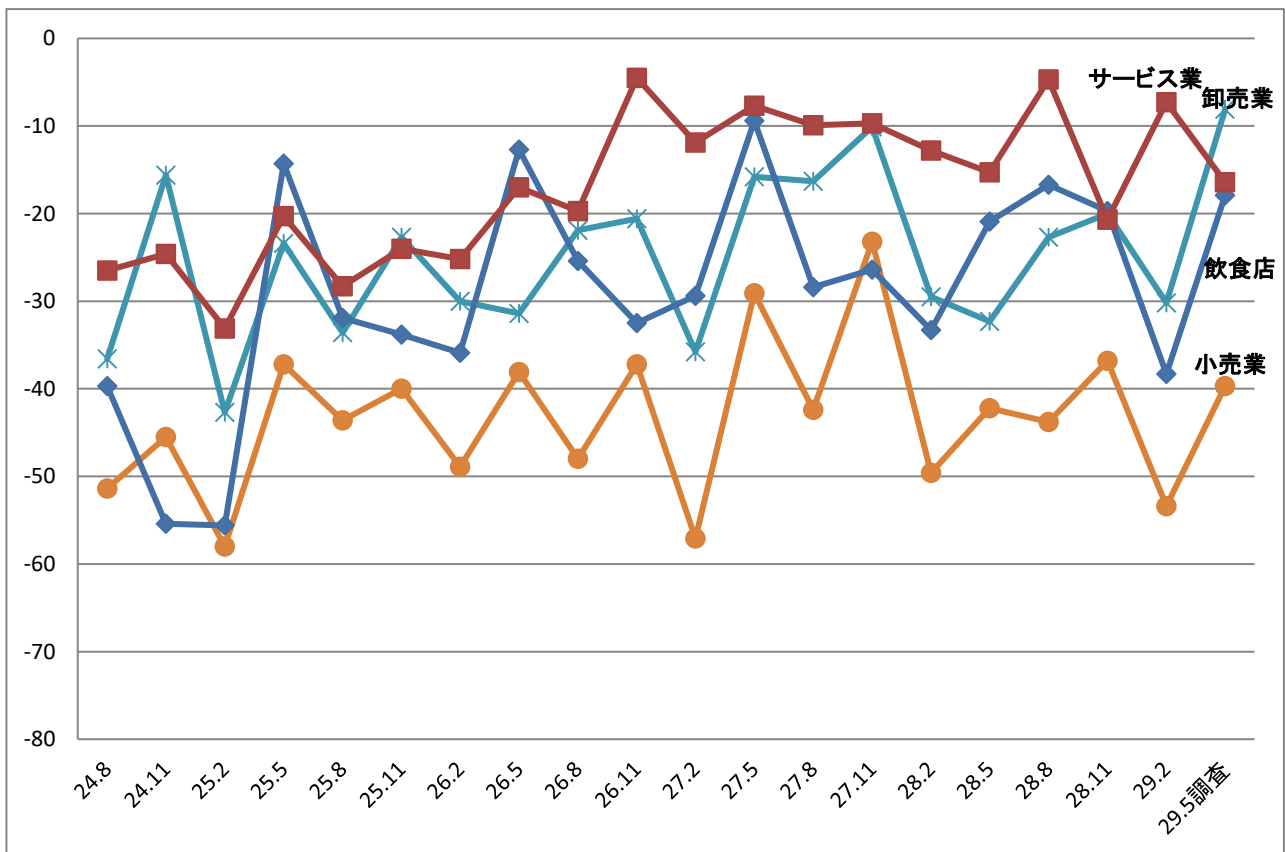
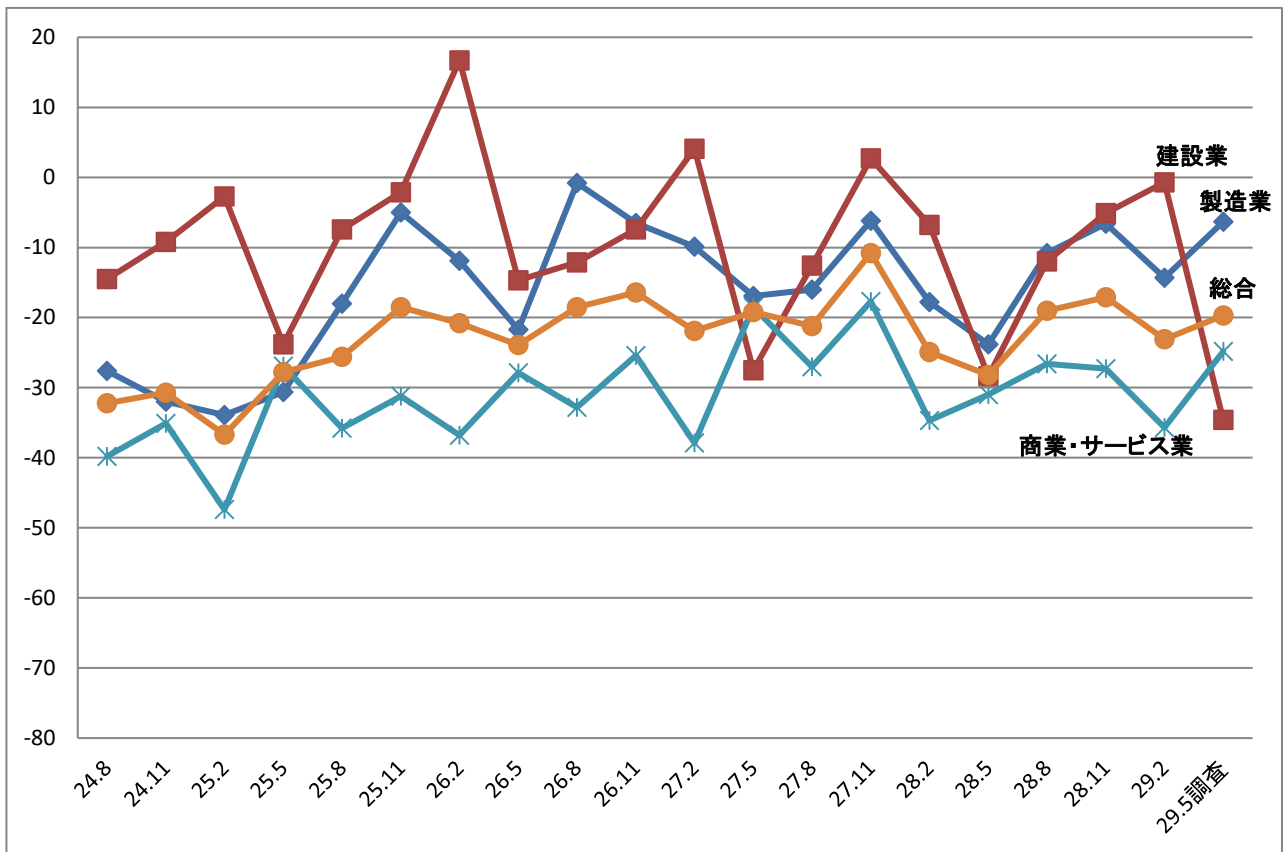
製造業中分類別DI表

		一般機械	電気機械	輸送用機械	その他	総合
回収数		81	75	68	127	351
業況判断	現在の業況	-1.2	-16.0	-4.5	-10.2	-8.3
	3ヶ月後の業況	-7.4	-18.7	-9.4	-11.8	-11.8
	半年後の業況	-2.5	-16.0	-12.7	-11.9	-10.7
経営状況	売上	0.0	-17.3	-4.4	-4.7	-6.3
	採算	-6.2	-16.0	-16.4	-11.0	-12.0
	引き合い／客数	4.9	-4.0	-13.4	11.1	1.7
	単価	-6.2	-12.2	-13.6	-11.9	-11.0
	仕入価格	-39.5	-45.9	-51.6	-43.7	-44.6
	資金繰り	0.0	-10.7	-10.3	-15.1	-9.7
	残業	-8.6	-9.3	1.5	-7.1	-6.3
	設備稼働	-1.2	-8.0	3.0	-1.6	-2.0
前期経営実績	売上水準	1.2	5.3	-5.9	0.8	0.6
	利益水準	18.8	22.7	16.2	15.0	17.7
	在庫	5.1	9.5	-1.6	-2.4	2.0
	投資	2.5	-2.7	-3.0	0.8	-0.3
	雇用状況	-19.8	-12.0	-22.4	-15.1	-16.9

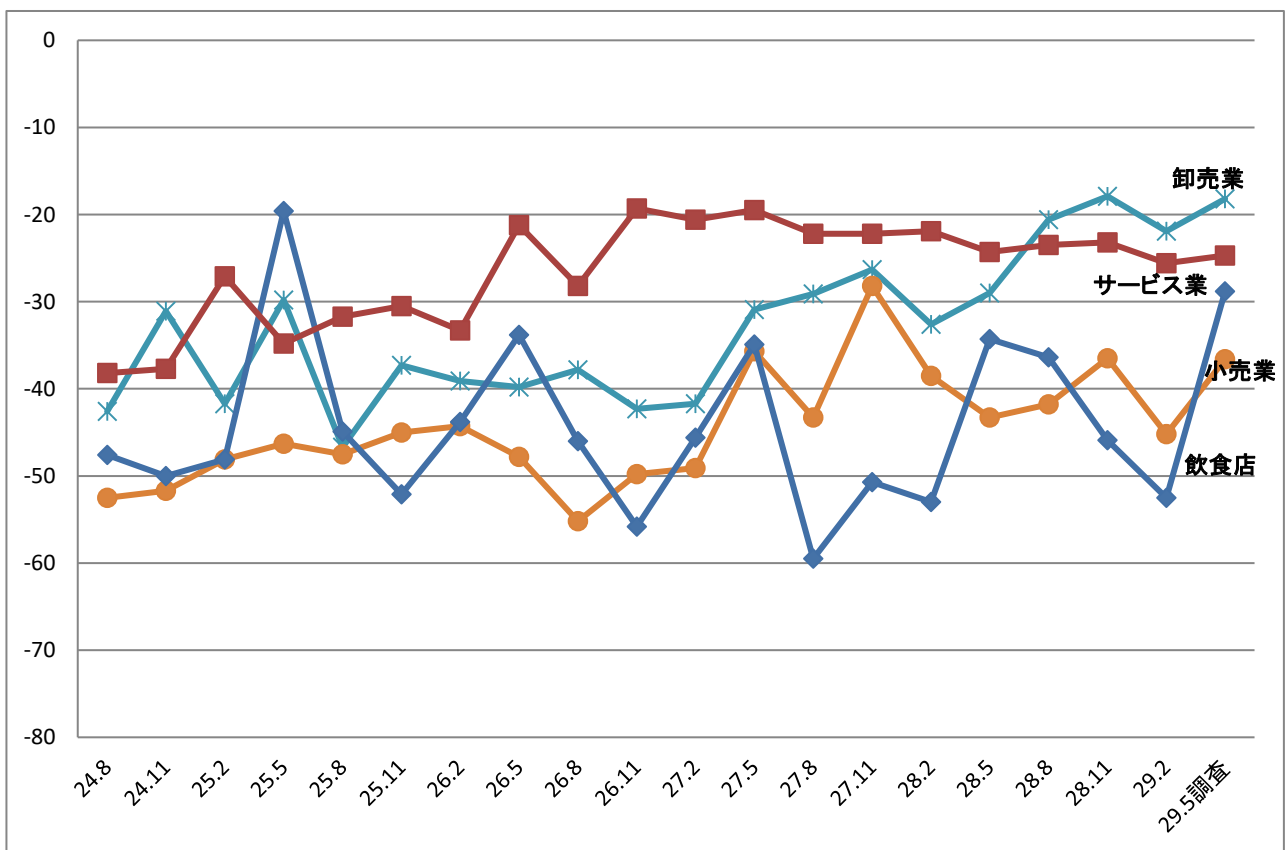
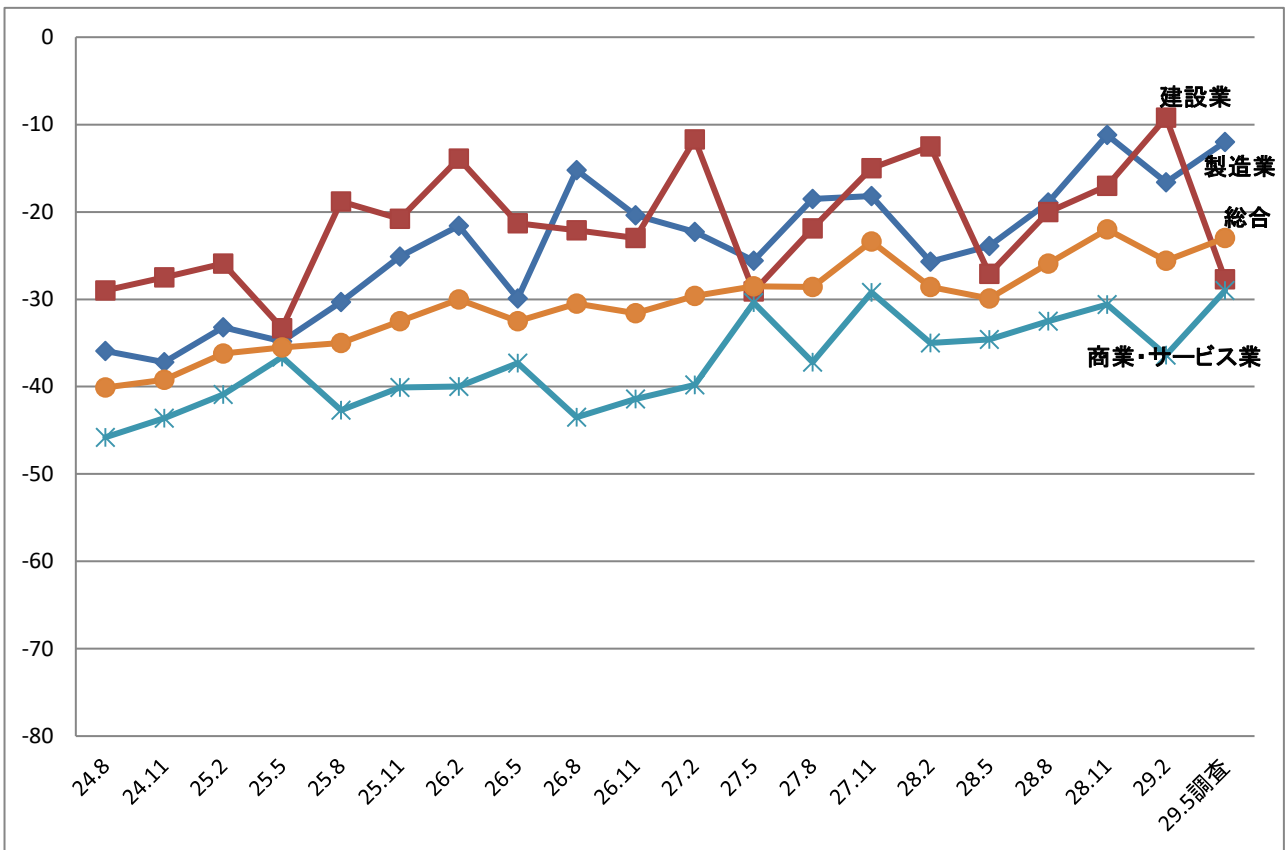
業況DIの推移



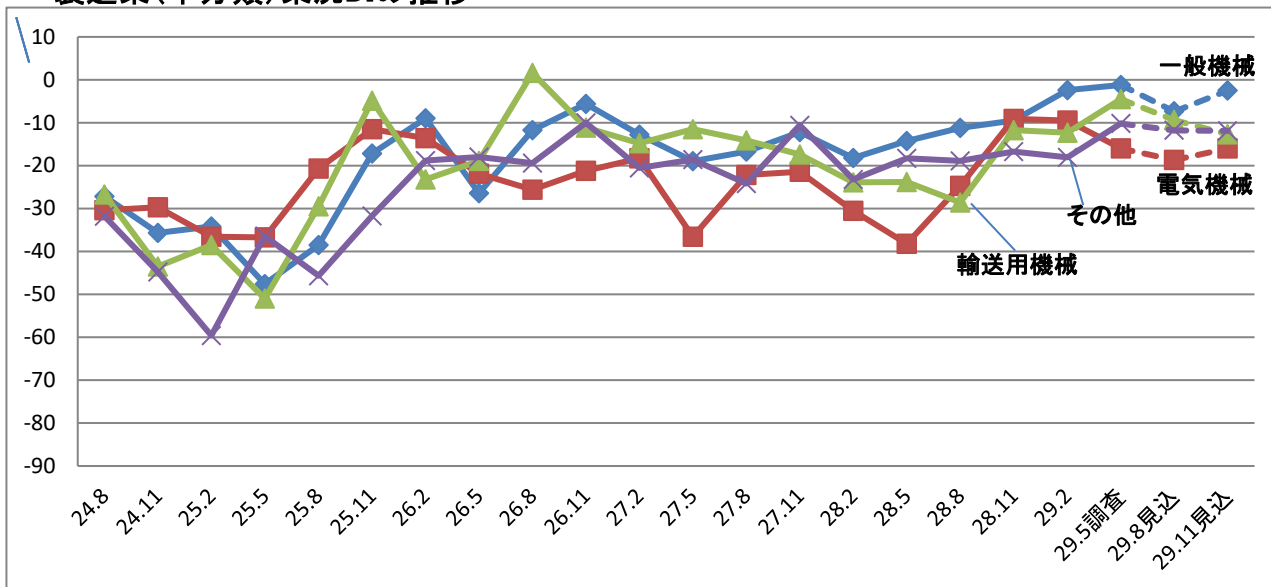
売上DIの推移



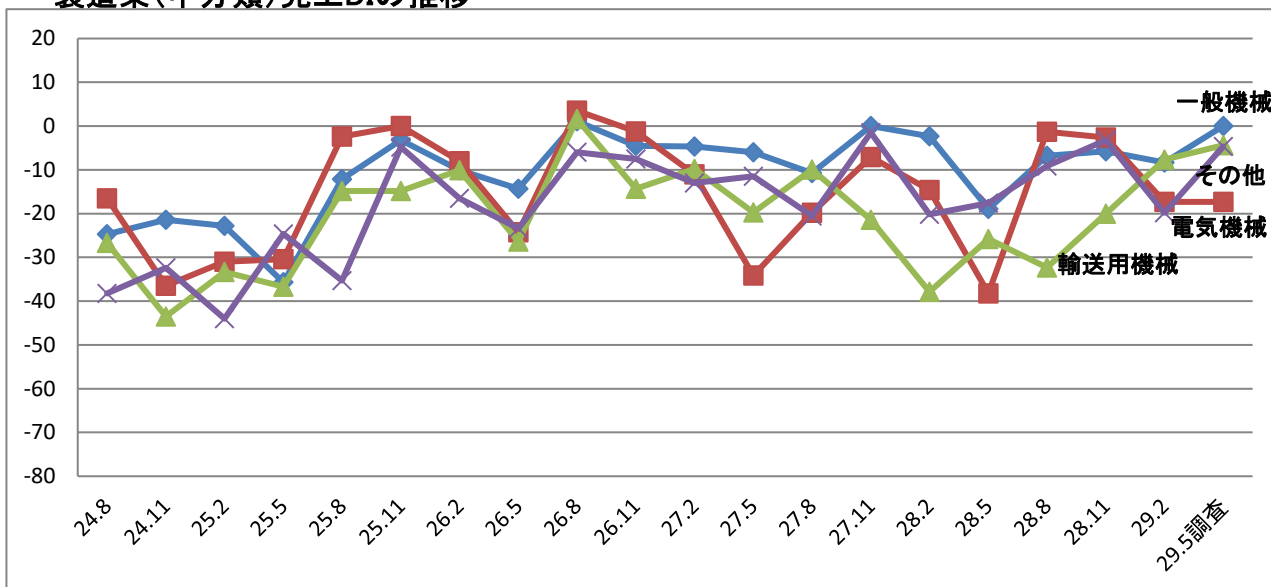
採算DIの推移



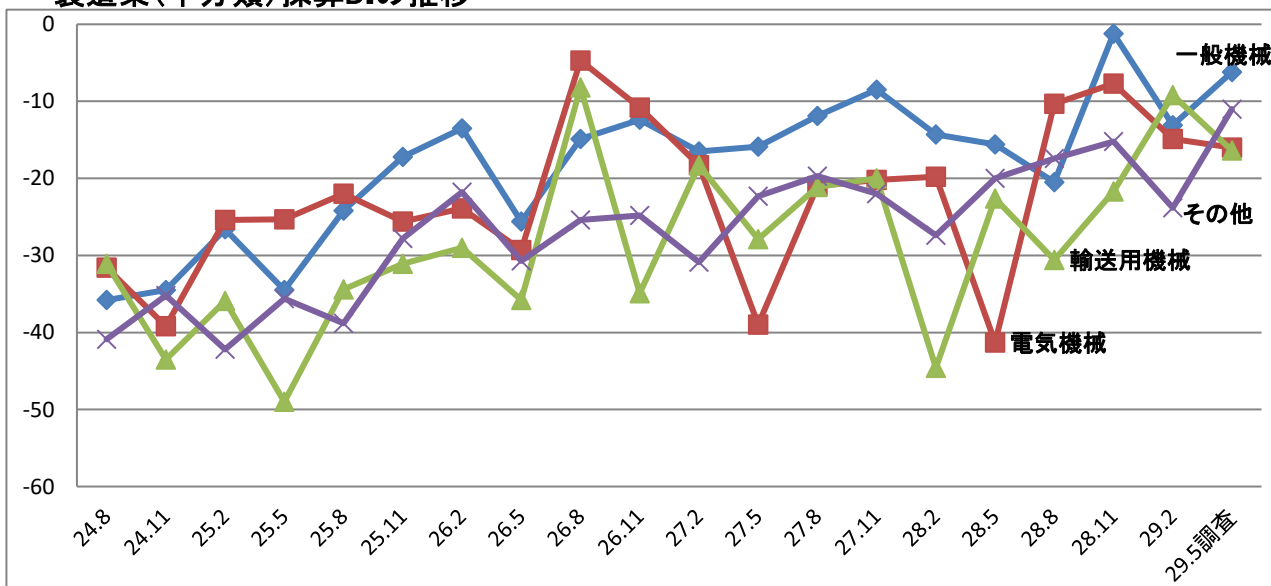
製造業(中分類)業況DIの推移



製造業(中分類)売上DIの推移



製造業(中分類)採算DIの推移



調査回答企業からのコメント(一部)

<製造業>

売上としては若干減少傾向にあるが、新製品の開発及び経費節減の努力を重ねるが、政府の更なる景気浮揚策を期待している。
取引先の内製化により業績は下っていく見通し。
設備投資の引合は増えている。受注までの期間が長い。山と谷があるので、谷を無くす営業戦略を考えているが、相手があることなので難しい部分です。
引き合いはあるが、なかなか決まて来ない。新規品の立ち上がりも遅れています。7月頃から段々と受注量が増加すると思われます。不安な点は仕入れ価格の上昇です。
納期の関係から残業が増えても売上があまり増えず、加工高も増加しない。今後も業務の無駄を無くすよう努めていく。
新製品開発遅れによる不調、開発成功により好転すると思われる。
親会社からの受注・委託が売上の大部分を占めており、親会社の景気動向や工程により変動を受けるが、基本的に売り上げは安定している。
前期に比べ今期は売上・利益ともに減少していますが、業績不調という訳ではありません。前期の売上・利益が良すぎた傾向にあり現状も忙しい状況が続いています。
(株)東芝の影響で大変苦戦しております。
消費税引き上げの見送りの影響。在庫調整で需要が弱い。
金属材料の値上が徐々に影響してきている。客先への価格転嫁が困難である為、他で採算を合わせる努力が必要。
受注状況に多少の波はあるが、業績の好調は当分続く。必要とする人材の確保が相変わらず厳しい。
見積りを安く出せば仕事はいくらでもとれそうな状況ですが、利益は確保したいので、踏ん張っている。仕事量に波があるので上手に対応しなくてはならない。
生産能力を上回る量を受注しており、それ自体はありがたいことだが、残業時間増や人手不足が深刻な問題。
3月から5月は売上は好調だが、6月以降は未定。今後の受注に期待。
特に大きな変化はない。昨年度が良すぎただけに今期は厳しいながらも健闘している方だと思う。
多くの顧客向けにリポート品について、2月から4月の材料値上げを価格に転嫁出来ており、利益率も良くなっている。
昨年後半、7月から12月迄不調、ようやく今年1月から4月で回復しつつあります。ただ、先の予測はつきません。
前期より売上がダウンしているものの4月から6月期としては、ここ数年で一番良くなりそう。景気は緩やかに回復している様子。
半導体製造が好調のようでカーボン製品の需要が増えているが採算割れが多い。受注増ではあるが、売上金額としては変わらず。

<建設業>

高齢化、後継者もなく、外注に頼るようになった為、利益率減の現状。顧客はクチコミ紹介が殆んどなので、大切に対応しながら頑張れるところまで。
仕事はあるが、人手が不足している。
安価で、たたき合うため仕事はやっているが利益は上がらず、人手不足もあり、現況赤字である。
建設現場の鉄骨工事が少ないため単価も安いし仕事も薄いです。
設備投資や改修工事の減少が大きく響き、今年は経営が厳しくなりそう。
年度末に公共工事を数件受注できたので一息つけたが、今後、引き合いはあるが、先行き不透明である。
新規入職者がいない為、人手不足がますます深刻になり受注調整を行う状況です。
物件も入っているの3か月後までは良いと思う。人手が足りない。現場系、職人、監督等求人を出しても全く応募が来ない。大手に取られるばかりで下請けには廻って来ない。
とにかく採算の取れない仕事が多い。
タイルが使われなくなってきた。今後どうなるかわからない。

<卸売業>

ぎりぎり2016年度卒の学生が採れた。なかなか厳しい。
小売店が、どんどんやめているので、この先が心配です。なんとか家族だけでやっているの。
実店舗の売上が落ちているのを、通販関連でカバーしているが、今後の運賃の値上げが心配。
何回も記入していますが、電球のLED化の為、売上が減少。
仕入先が倒産したことで大きく事業方針の転換をすることになりました。順調に進めば回復します。
パートタイマーを募集していますが応募が激減しており6ヶ月近く経っても未だ1名も採用出来ない状況で深刻です。

調査回答企業からのコメント(一部)

外商営業の若手が戦力化出来、提案型営業パターンが確立し、物件を安定的に取れるようになった為。

<小売業>

住民の代替わりで若い世帯は増えているものの、共働きの為、ほとんど人影がなく不安な毎日です。

天候の影響が大きく、外出しない人が多い。又、高齢化により年金収入が減っている為、買い物は余計なものは買わない傾向になってきた。

人手不足を感じたことは全くありません。アルバイトさんは飲食店を敬遠しているようですが、物販の店舗がどんどん減少している(ネット通販の影響)ので、募集をかけるとすぐに応募者は来ます。

景気は上向きとの報道があるが、厳しい状況である。物品小売業はネット通販や新しいモールの開店で、現状維持で精一杯。

高齢者の商品の買い控え。年金の引き下げ、医療費の高騰で当店(婦人洋品)の扱い商品の購入は年々少なくなっている。

インターネットの増幅に伴う消費増加は、小売業に厳しい経営が続いている。大型店のポイントセールは厳しい！！。

大型店(ホームセンター、スーパー)の相次ぐ出店により客数の減少で売上が減少しており、先行きは暗い状況です。

経営悪化の為、パートを一人減らし、営業時間も短縮して経費削減がどこまで出来るか。とにかく商店街の人通りが減り、又、高齢化でお店に来られなくなった方が増えています。新規客を増やすにしても、ネット販売に押され苦戦しています。

とにかく客数が減ってしまっています。売上が取れません。業種変更もしくは廃業を考えています。

商店街そのものが高齢化している。若者が新しい商業施設へ集中している為、人が少ない。なんとか呼び戻したい。

飲酒、喫煙人口減少はこの業界ではとても厳しい。他店に無い価値あるものを仕入れてはいるが集客が課題である。

一番の問題点は人手不足。人員が確保できれば展望も明るくなるのでは。

ネット販売は好調でしたが、実店舗の売上が減少傾向です。取引先からも同じような話を聞いていますが、具体的な理由は不明です。

人員不足。事務職、営業職共に人手不足だが、募集をしても人が来ない。

商店街に人が少なくスーパーも少なく、コンビニは増えて酒店に力が無くなった。価格が仕入価格より安いものばかり。缶ビールなど酒屋の商品ではないようです。

<飲食店>

中小企業のご利用が減っている。先行き不透明なので見通しは立たない。

箱根に観光客は増えているという一般論はありますが、それは湯本の辺りまでで、芦ノ湖近辺の飲食店は、大企業のバス～観光船～ロープウェイ(バス)という形からの恩恵は、車の渋滞以外の何物も受けられません。

前年度、1月から3月は好調だったのに、本年度の1月から3月は極めて悪いので分析しかねている。法事の件数が減り、人数も少人数の傾向にある。お客さんの財布のひもが固い。法事は三回忌迄で、それ以降は省略している。家族葬が増えていて、直会はやらない人もいる。

仕入(材料)価格の上昇に伴い、お客様が、なかなかついてこれないという状況だと思います。

クチコミが一番効果がありますね。このまま続けばと思います。

アルバイトが不足していて、他の従業員が、かなり無理をしなくてはならない。

求人しても人が集まらない。求人にかかる費用が昨年と比べて1.5倍位になった。

元々外食産業が無い所なので大変です。最近ネットにお客様が投書しているようで、新しいお客様(遠方の方)が多くなっています。

<サービス業>

募集を出してもメカニックの応募が無く、高齢の社員をそのまま継続して雇用している状況。OA化が進む中、高齢者で対応が難しいことが増えている。

人材不足。募集するも応募者がゼロの状態(折り込み、ハローワーク等)。

お客様の高齢化にともない、減少しています。

当クリーニング業界においては衣服のカジュアル低価格化と、客の高齢化が止まらず、将来的には縮小傾向は、ずっと続くと思います。

人件費の高騰が続いており、採用コストと併せて利益率を圧迫している。

当業界は去年下半期より15%減の為、従業員、パートの退職により利益を多少出している状況。又、材料、輸送の値上がりなどがどうなるか不安。

人口減。企業数減のあおりが出ている。今後、過度の価格競争で厳しい状況が当分の間、続くものと思われる。

人手を確保出来れば、好転出来ると思われる。

新年度になり動き始めた感がある。小さい案件が多いけれど採算は悪くなく、新しいクライアントを増やしていく。

築年数の経過した建物をリノベーションして販売、賃貸する事で好調。